

海南高等学校定時制

実施日時	令和2年11月2日(月)、12月21日(月)
参加者	生徒14名、教職員10名、地域住民等0名 計24名
実施内容	救命救急講習(心肺蘇生法及びAEDの取り扱い)、 避難訓練(シェイクアウト)、マイトイレ作り

ねらい

1. 近い将来起こると想定されている南海トラフ巨大地震などの自然災害に備え、防災・減災に関する基礎的事項を系統的に理解し、防災への意識を高める。
2. 地域防災の担い手として社会貢献できる青少年を育成する。

主なプログラム

1. 救命救急講習
2. マイトイレ作り
3. 事前の取組 以上、12月21日実施
4. 避難(シェイクアウト)訓練 11月2日実施

概要

1. 救命救急講習

「心肺蘇生法及びAEDの取り扱い」

海南市消防本部から2名の講師を招き、救命救急講習を実施した。講師の実演を見ながら胸骨圧迫の説明を受け、生徒・教職員も実習した。

また、AED(自動体外式除細動器)の機能や使い方について説明を受け、校内のAEDの設置場所を確認した。

2. マイトイレ作り

その後、災害時に役立つ工夫として新聞紙とペットシートを用いたマイトイレ作りに取り組んだ。



3. 事前の取組

令和2年度版県立海南高校定時制危機管理マニュアルを用いて、災害時における教職員の役割分担及び対応について共通理解を図った。

4. 避難(シェイクアウト)訓練

11月2日、文化祭の日に巨大地震が発生したと想定し、緊急地震速報を用いてシェイクアウト訓練を実施した。

「防災ハンドブック」を用いて津波避難三原則などを確認、またリーフレットを用い「世界津波の日」について説明した。



参加者感想文

- ・ 何分間も胸骨圧迫するのは大変だと感じました。倒れている人がいれば率先してやろうと思いました。
- ・ 思っていた以上に胸骨圧迫はしんどかった。2分間がとても長く感じました。
- ・ 実際に体験してみて、心臓マッサージの難しさがわかりました。
- ・ いざというとき使えるように覚えておこうと思いました。勉強になりました。

成果と課題

【成果】

コロナ対策の観点から人工呼吸の練習はできなかったものの、海南消防署員の方の指導により生徒は胸骨圧迫の方法を体験し、AEDの機能や使用方法について学習することができた。生徒は熱心に実習に参加し、マイトイレ作りにも取り組んだ。

【課題】

夜間定時制であるため、校外の避難場所への避難訓練を実施する場合には注意が必要である。また、保護者や地域の方の参加を促すためにどんな工夫ができるかが課題である。